

地域創生研究所活動報告 ～2022年度～

<共同研究事業>

1) テーマ：西濃地域の中小流通・サービス業の経営課題について

○研究目的：新型コロナウイルス感染拡大により甚大な影響を受ける流通・サービス業について、各地で調査が行われている。たとえば、東京商工会議所会員企業を対象としたアンケート調査は、中小流通・サービス業にとってデジタル化は避け研究目的で通ることができないものの、活用が難しいとされる要因があること等を示し、現場の経営課題を明らかにしている。こうした調査研究は、地域づくりの活性化に寄与すると思われるが、西濃地域では見当たらない。そこで、本研究では、西濃地域の中小流通・サービス業の現況および今後を見据えた経営課題を明らかにすることを目的とする。

○研究期間：2022年4月1日から2023年3月31日

○研究者：研究代表者 井口詩織経営学部講師
共同研究者 河合晋経営学部教授
為房牧経営学部准教授
佐々木喜一郎経営学部准教授

<公開講演会>

○日時：2022年12月3日（土） 13：00～15：40

○場所：岐阜協立大学 講堂

○テーマ：健康長寿を目指すー人生100年時代は健康格差社会を意味するー

○内容：最新の平均寿命は男性82歳、女性88歳、健康寿命は男性73歳、女性75歳である。このデータは、人生最後の10年は認知症か寝たきり状態になることを意味している。したがって、健康寿命を延ばすことが重要な課題となっている。その解決策として、①適度な運動 ②バランスのとれた食生活 ③医療機関との上手な関わり方が不可欠である。運動機能（骨・関節・筋肉）の予防、治療については整形外科の専門家に、血管・栄養（生命代謝）の障害である認知症、脳卒中や心筋梗塞の予防、治療については、循環器の専門家に、心と体のケアや予防医学については総合診療の専門家に講演して頂く。健康寿命のkeywordは『意欲』だと思う。人生最後まで、生きる意欲を衰えさせず、自立した生き方を目指す機会としたい。

○プログラム：

13：00～13：05 開会挨拶

高橋信一 地域創生研究所長

13：05～13：15 はじめに（基調講演、講師紹介）

佐々 敏 教授（岐阜協立大学 看護学部）

13：20～13：50 講演Ⅰ「整形外科の立場から」

松本 和 院長（岐阜清流病院）

14：00～14：30 講演Ⅱ「血液循環の立場から」

坪井 英之 元大垣市民病院副院長（新生病院）

14：40～14：50 大垣市民体操で健康寿命を延ばそう

古田 康生 教授（岐阜協立大学 経営学部）

15：00～15：30 講演Ⅲ「総合診療の立場から」

後藤 貴吉 副院長（新生病院）

15：30～15：40 総合討論